

平成16年6月23日

連絡先
農水商工部水産室
室長 津田 平蔵
水産振興グループ
担当者 竹 内
電話 059-224-2584

資料提供について

1 報告事項

コイヘルペスウイルス病の発生について

2 要 旨

6月18日に、四日市市の市民から同市環境保全課に届け出があった天白川水系鹿化（かばけ）川の同市川島町内の長の湯橋付近で採取したコイのへい死魚7尾のうち、検査可能な1尾について県水産研究部でコイヘルペスウイルス（KHV）検査を行い、6月21日に陽性反応を確認後、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所（玉城分室）に確定診断を依頼していたところ、6月23日にKHV病によるへい死と確定しました。

3 報告内容

- (1) 6月18日、四日市市の市民から同市環境保全課に、天白川水系鹿化川の同市川島町内を流れる長の湯橋付近でコイのへい死魚7尾を発見した旨連絡があり、すべて腐敗がかなり進んでいたものの、そのうちで検査可能なマゴイ1尾につき、県水産研究部でKHV病の検査を実施した結果、6月21日に陽性となりました。
- (2) 6月23日に独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所（玉城分室）に確定診断を依頼していた結果が判明し、KHV病と診断されました。
- (3) 感染経路については、今のところ不明です。
- (4) 本病はコイ特有の疾病で他の魚や人に感染することはないため、仮に感染したコイに人が触ったり、食べたりしても人体に影響はありません。

4 今後の対応方針について

まん延防止を図るため、三重県内水面漁場管理委員会と連携して、当該河川からコイの持ち出しによる放流の禁止等について検討します。

5 その他：関連ホームページ

三重県農水商工部水産室ホームページ
<http://www.pref.mie.jp/SUKYOKYU/HP/>